

# 化学部会（2012年7月度）見学・研修会報告

日時：2012年7月19日（木）14:00～16:30

場所：株式会社ダイセル 神崎工場

## テーマ：株式会社ダイセル 神崎工場の見学・研修会

### 講演1 神崎工場の説明と主要製品

林 文彦 株式会社ダイセル 神崎工場長

大阪繊維工業株式会社として1916年セルロイドの製造を開始した。1919年にセルロイド製造8社の合併により大日本セルロイド株式会社 神崎工場となる。1932年から包装材料事業としてセロハンを製造開始し1975年迄製造した。その後2004年にダイセルのフィルム事業部門をダイセルバリューコーティング株式会社（DVC）として分社化し、現在はダイセル神崎工場内にDVC神崎工場がある。また、ダイセルの総合研究所は網干にあるが、機能フィルム開発センターは神崎地区に設置している。

神崎工場の主力製品は包装用フィルムであり、要求される性能（①内容物の保護能力、②加工適性、③商品性）を満たすため、フィルム基材に複数の材料をラミネートして市場に供している。

### 講演2 ダイセルの機能性フィルム

露本美智男 株式会社ダイセル 機能フィルム開発センター所長

#### 1. 高耐久性ANR（アンチニュートンリング）フィルム

タッチパネルは、指などで押すと光の干渉によりニュートンリングが発生し、画面が見づらくなるので、一般的にフィラー方式（ビーズなどを入れて凹凸を作る方式）が採用されている。フィラー方式の欠点はパネルの耐久性に悪影響を与えることであり、改善のため当社では相分離技術を独自に開して凹凸を形成することにより、ニュートンリングの発生防止と高耐久性（フィラー方式での約10万回打鍵での劣化に対して100万回以上）を両立させた。タッチパネル方式の液晶は、これからますます利用の増える分野であり期待している。

#### 2. 高耐熱多孔質フィルム

相分離技術を展開し、耐熱性・対薬品性に優れ、線幅13 $\mu$ mの銀線を印刷可能など、次世代の印刷配線技術として提案できる。平均孔径1 $\mu$ m、最大空孔率70%を製造できるので、多彩な用途・応用性を提案できる製品である。

#### 3. 透明ハイバリアフィルム

高水蒸気バリア性で、透明性、柔軟性を求める分野に対応するフィルムである。電子ペーパー、有機薄膜太陽電池、食品包装など幅広い用途が見込まれており、バリア性能をさらに高める研究を続けている。

### 工場見学と質疑

2班に分かれて研究所と工場を見学した。詳細な説明と質疑をさせていただいたが、細部は省略する。

（文責 藤橋雅尚）